

ペトロラタム系防食テープ No.59 シリーズ 施工要領書



注意

使用に際しては、本製品が用途（目的・条件）に適合するか、十分に検討のうえ、ご使用ください。

- ペトロラタムは有機溶剤に溶けます。有機溶剤に触れる恐れのある個所には使用しないでください。
- 上塗り塗装を行う場合は、特性をよくご確認の上、実施してください。
- 本要領書に記載されている施工手順は小〜中口径の配管を想定した標準作業手順であり、サイズが大きく逸脱した配管や、記載の無い形状の構造物の場合はこの限りではありません。

日東電工株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1丁目2番70号 品川シーズンテラス26F
TEL: 03-6632-2101 FAX: 03-6632-2025 <https://www.nitto.com/jp/ja/>
製品に関するお問い合わせ: フリーダイヤル 0120-112-387
カタログコード: 11193 2019年1月発行

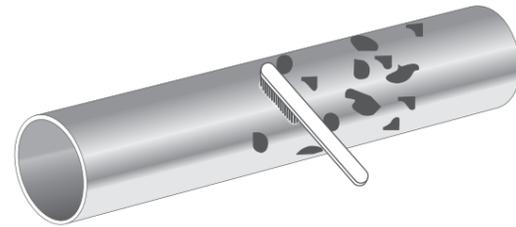
直管

施工手順

直管	エルボ	チーズ	フランジ	バルブ	溶接接続部
----	-----	-----	------	-----	-------

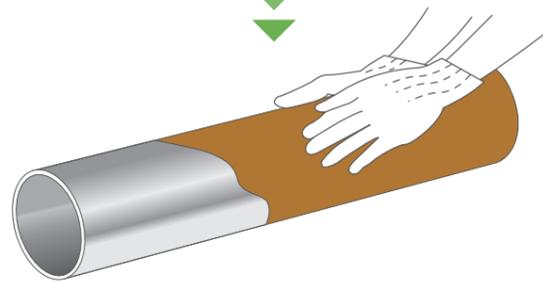
1 素地調整

ワイヤーブラシ、ハンマーなどで配管表面のサビを落とします。サビのひどい部分には電動工具を使用してください。素地調整後はゴミ、水分、油をウエスで完全に取り除きます。



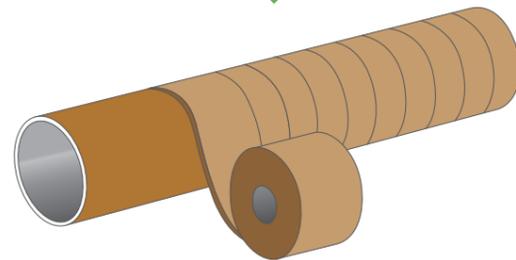
2 下塗り

No.59PW(下塗り材)は素地調整後、軍手などで均一に塗布します。標準使用量は $0.2\text{kg}/\text{m}^2 \sim 0.4\text{kg}/\text{m}^2$ です。



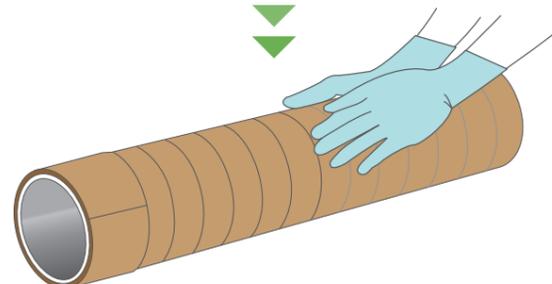
3 テープ施工

ペトラタムテープNo.59を55パーセントラップで巻きつけます。



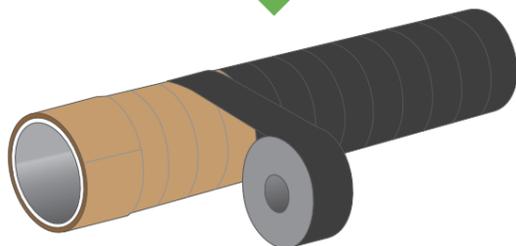
4 なでつけ

巻きつけ後、ゴム手袋、圧着ローラー、ゴムヘラなどで十分になでつけます。とくにテープの端部とラップ部は念入りになでつけてください。



5 保護テープ施工

埋戻しの際、施工表面に傷がつく可能性があるため、全面に保護テープNo.55を巻きつけます。



6 検査

目視および手触りで傷、浮き、はがれをチェックします。下面、背面など目立たない部分は特に注意してください。

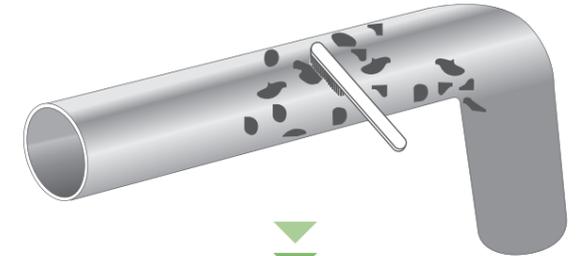
エルボ

施工手順

直管	エルボ	チーズ	フランジ	バルブ	溶接接続部
----	-----	-----	------	-----	-------

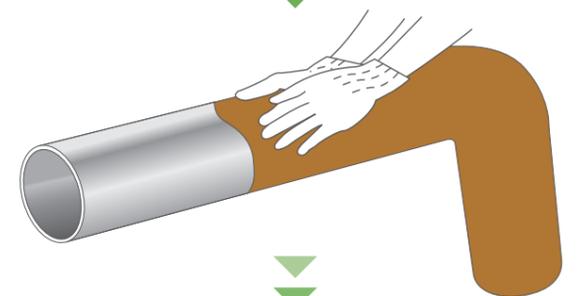
1 素地調整

ワイヤーブラシ、ハンマーなどで配管表面のサビを落とします。サビのひどい部分には電動工具を使用してください。素地調整後はゴミ、水分、油をウエスで完全に取り除きます。



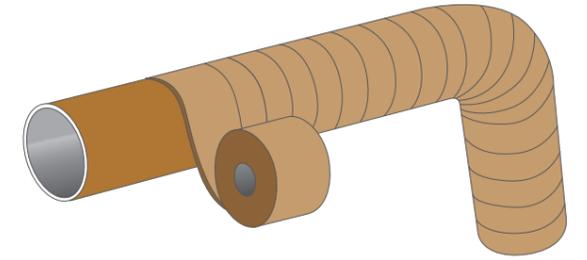
2 下塗り

No.59PW(下塗り材)は素地調整後、軍手などで均一に塗布します。標準使用量は $0.2\text{kg}/\text{m}^2 \sim 0.4\text{kg}/\text{m}^2$ です。



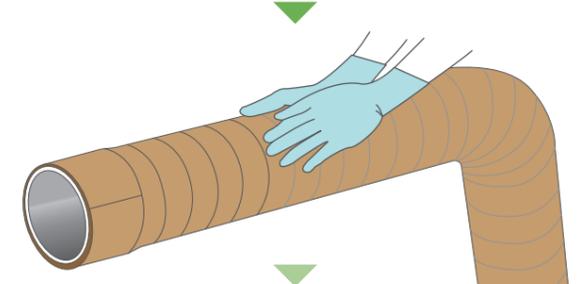
3 テープ施工

ペトラタムテープNo.59を55パーセントラップで巻きつけます。



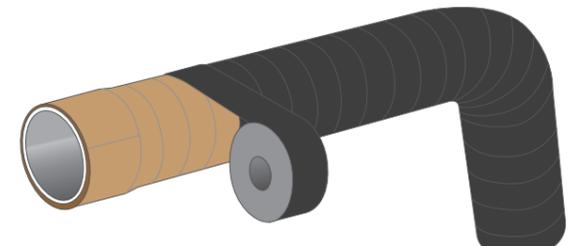
4 なでつけ

巻きつけ後、ゴム手袋、圧着ローラー、ゴムヘラなどで十分になでつけます。とくにテープの端部とラップ部は念入りになでつけてください。



5 保護テープ施工

埋戻しの際、施工表面に傷がつく可能性があるため、全面に保護テープNo.55を巻きつけます。



6 検査

目視および手触りで傷、浮き、はがれをチェックします。下面、背面など目立たない部分は特に注意してください。

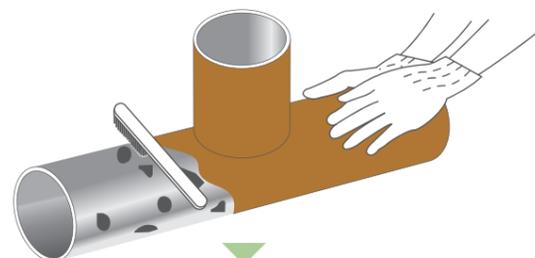
チーズ

施工手順

直管	エルボ	チーズ	フランジ	バルブ	溶接接続部
----	-----	-----	------	-----	-------

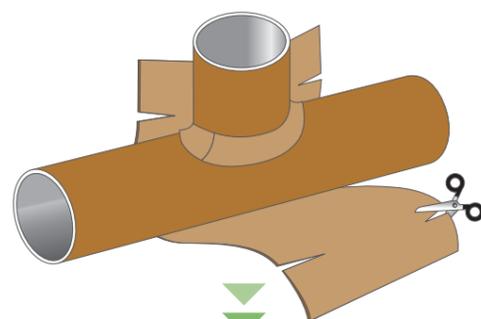
1 素地調整

ワイヤーブラシ、ハンマーなどで配管表面のサビを落とします。サビのひどい部分には電動工具を使用してください。素地調整後はゴミ、水分、油をウエスで完全に取り除きます。



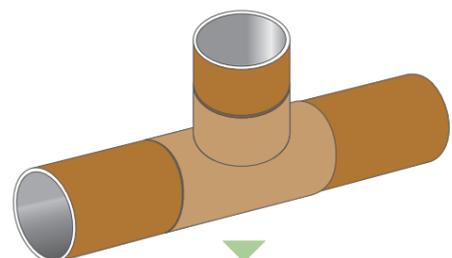
2 下塗り

No.59PW(下塗り材)は素地調整後、軍手などで均一に塗布します。標準使用量は0.2kg/m²~0.4kg/m²です。



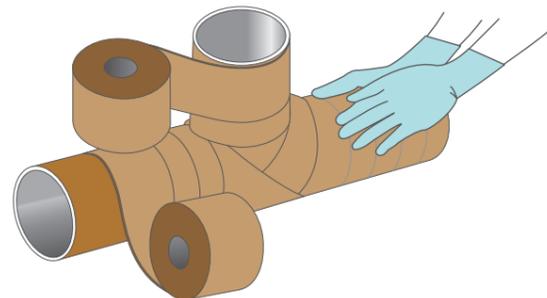
3 テープ施工

- (1) ペトロラタムテープNo.59をコーナー部に捨て貼りします。
- (2) 異型部に幅広のテープを貼り付けます。
- (3) チーズ部はクロス巻とします。
- (4) 立ち上がり部は下から上へ巻き上げます。



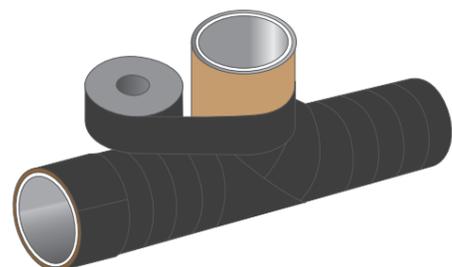
4 なでつけ

巻きつけ後、ゴム手袋、圧着ローラー、ゴムヘラなどで十分になでつけます。とくにテープの端部とラップ部は念入りになでつけてください。



5 保護テープ施工

埋戻しの際、施工表面に傷がつく可能性があるため、全面に保護テープNo.55を巻きつけます。



6 検査

目視および手触りで傷、浮き、はがれをチェックします。下面、背面など目立たない部分は特に注意してください。

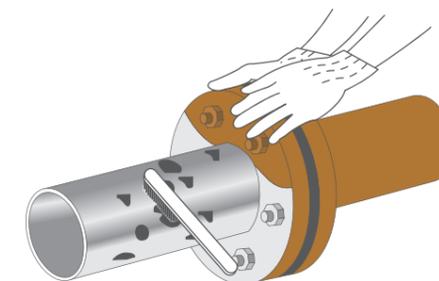
フランジ

施工手順

直管	エルボ	チーズ	フランジ	バルブ	溶接接続部
----	-----	-----	------	-----	-------

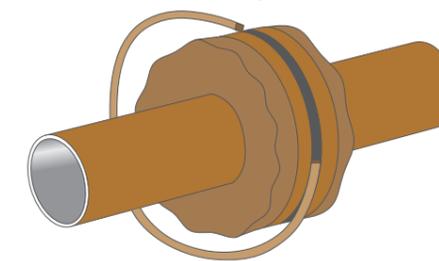
1 素地調整

ワイヤーブラシ、ハンマーなどで配管表面のサビを落とします。サビのひどい部分には電動工具を使用してください。素地調整後はゴミ、水分、油をウエスで完全に取り除きます。



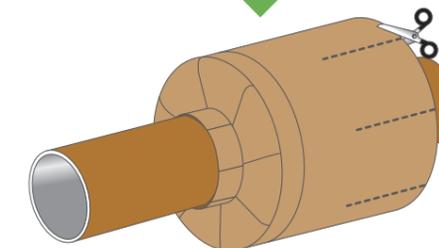
2 下塗り

No.59PW(下塗り材)は素地調整後、軍手などで均一に塗布します。標準使用量は0.2kg/m²~0.4kg/m²です。



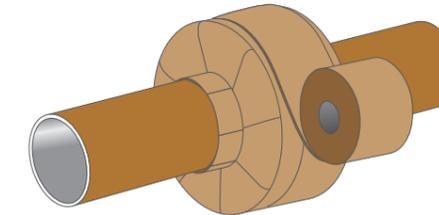
3 テープ施工

- (1) ひも状に切ったペトロラタムテープNo.59またはNo.59M(充填材)でフランジのすき間を埋めます。
- (2) ボルト・ナット部にNo.59M(充填材)を詰めます。
- (3) 幅広のテープをフランジの中央部から左右の充填材をおおうように巻きつけ、絞り込みます。絞り込む部分に切り込みを入れるとテープの浮きを押さえることができます。
- (4) フランジのセンター部に捨て巻きします。
- (5) 直管部に巻きつけます。



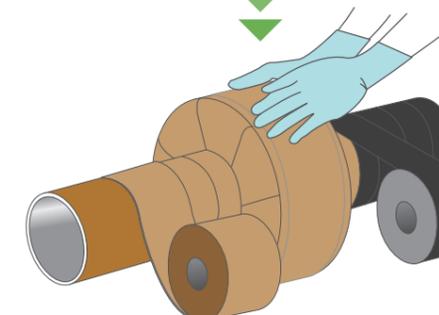
4 なでつけ

巻きつけ後、ゴム手袋、圧着ローラー、ゴムヘラなどで十分になでつけます。とくにテープの端部とラップ部は念入りになでつけてください。



5 保護テープ施工

埋戻しの際、施工表面に傷がつく可能性があるため、全面に保護テープNo.55を巻きつけます。



6 検査

目視および手触りで傷、浮き、はがれをチェックします。下面、背面など目立たない部分は特に注意してください。

バルブ

施工手順

直管 エルボ チーズ フランジ バルブ 溶接接続部

1 素地調整

ワイヤーブラシ、ハンマーなどで配管表面のサビを落とします。サビのひどい部分には電動工具を使用してください。素地調整後はゴミ、水分、油をウエスで完全に取り除きます。

2 下塗り

No.59PW(下塗り材)は素地調整後、軍手などで均一に塗布します。標準使用量は $0.2\text{kg}/\text{m}^2 \sim 0.4\text{kg}/\text{m}^2$ です。

3 テープ施工

- (1) フランジ部は、フランジ部の施工手順を参照して施工してください。
- (2) 幅広テープをバルブ本体を包み込むように貼付けます。
- (3) 複雑な形状の部分はテープに切り込みを入れてテープの浮きを押さえます。
- (4) 仕上げはフランジの左右、上下、およびセンターに捨て巻きして終了です。

4 なでつけ

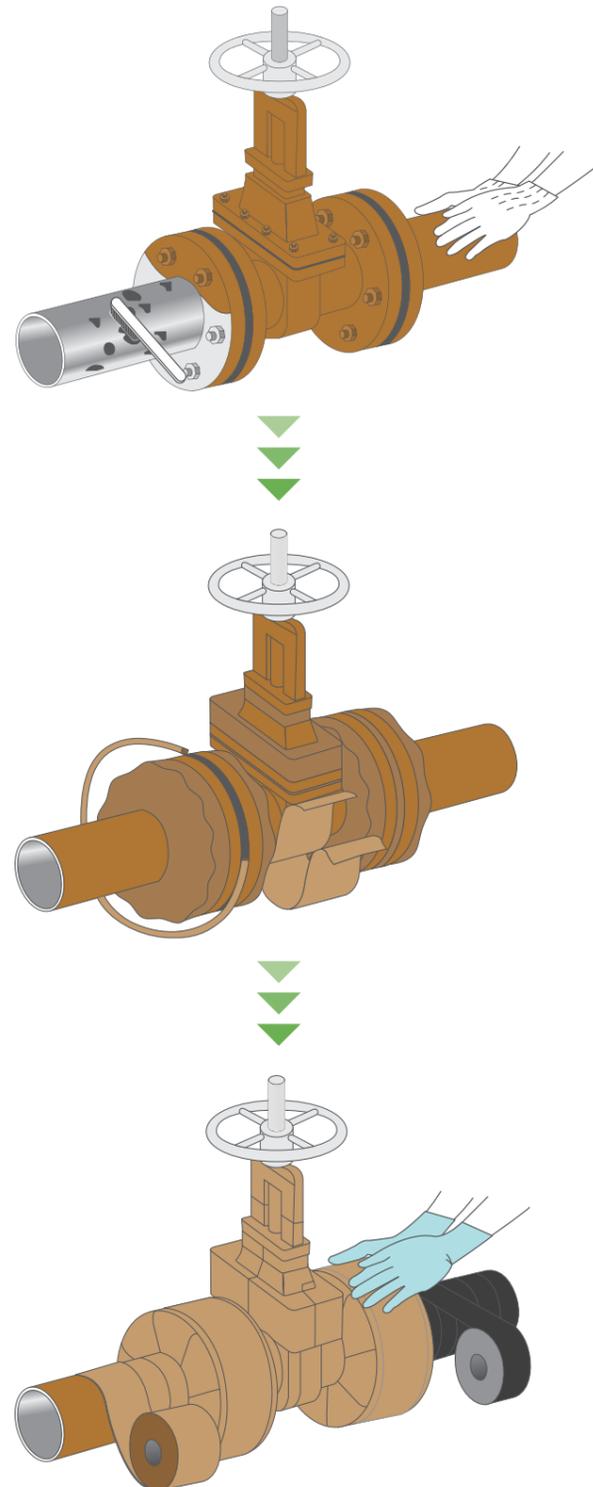
巻きつけ後、ゴム手袋、圧着ローラー、ゴムヘラなどで十分になでつけます。とくにテープの端部とラップ部は念入りになでつけてください。

5 保護テープ施工

埋戻しの際、施工表面に傷がつく可能性があるため、全面に保護テープNo.55を巻きつけます。

6 検査

目視および手触りで傷、浮き、はがれをチェックします。下面、背面など目立たない部分は特に注意してください。



溶接接続部

施工手順

直管 エルボ チーズ フランジ バルブ 溶接接続部

1 素地調整

ワイヤーブラシ、ハンマーなどで配管表面のサビを落とします。サビのひどい部分には電動工具を使用してください。この際、溶接箇所にはビードの突起、スパッターがないことを確認してください。素地調整後はゴミ、水分、油をウエスで完全に取り除きます。

2 下塗り

No.59PW(下塗り材)は素地調整後、軍手などで均一に塗布します。標準使用量は $0.2\text{kg}/\text{m}^2 \sim 0.4\text{kg}/\text{m}^2$ です。

3 テープ施工

- (1) ペトロラタムテープNo.59を溶接部に1回巻きつけます。
- (2) 端部から55パーセントラップで巻きつけます。

4 なでつけ

巻きつけ後、ゴム手袋、圧着ローラー、ゴムヘラなどで十分になでつけます。とくにテープの端部とラップ部は念入りになでつけてください。

5 保護テープ施工

埋戻しの際、施工表面に傷がつく可能性があるため、全面に保護テープNo.55を巻きつけます。

6 検査

目視および手触りで傷、浮き、はがれをチェックします。下面、背面など目立たない部分は特に注意してください。

